

無石綿

NSらくらくパウダー

モルタル流動化混和材

NSらくらくパウダーはセメントと砂に添加し水で練るだけで、流動性を現場調合モルタルに付与し、施工性が向上します。また、リーズナブルな床下地材として施工ができる画期的な専用混和材です。

特長

- NSらくらくパウダー混入モルタルは、流動性があるため、室内床だけでなくパイプシャフト室等の狭くてモルタルが押えにくい場所に適しています。
- NSらくらくパウダー混入モルタルは、これまでのモルタルのこて押えよりも省力化がはかれます。
- NSらくらくパウダー混入モルタルは既存の設備で対応できるため、容易に製造できます。

標準仕様

荷姿(包装)	適用部位	適用下地	適用仕上げ	標準調合	標準塗厚	標準施工面積
3.8kg/袋 4袋/箱	内部床	コンクリート、 PC板	フローリング、 カーペット、二重床 (Pタイル、長尺シート)*1	NSらくらくパウダー 3.8kg セメント 25kg×2袋 砂 100kg 清水 30~35ℓ*2 (W/C=60~70%)	10~30mm*3	約4m ² (20mm厚)

注) *1: Pタイル・長尺シート仕上げをおこなう場合、事前に弊社にご相談ください。

*2: 加水量はあくまでもSLフロー値200mm程度を確保できる目安です。

*3: NSらくらくパウダー混入モルタルの施工可能厚は使用するモルタルの骨材の大きさにより変わりますのでご注意ください。

上記標準仕様以外での施工による不具合につきましては、弊社では責任を負いかねますのでご注意ください。

※各生産工場により、標準調合(加水量)が若干変わることがありますので、製品の包装袋の記載値で調合してください。

性能

■NSらくらくパウダー混入モルタルの物性(20℃、参考値)

試験項目	参考値	国土交通省官房官庁営繕部監修「建築工事共通仕様書」 セメント系セルフレベリング材の品質基準
フロー値(cm)	20.7	19以上
凝結時間(時間-分)	始発	8-24
	終結	14-52
圧縮強度(N/mm ²)	20.8	20以上
下地接着強度(N/mm ²)	10mm厚	1.9
	20mm厚	2.5
表面接着強度(N/mm ²)	10mm厚	1.1
	20mm厚	1.2
耐衝撃性	割れ及びはがれはなし	割れ及びはがれがないこと

※上記試験結果は、JIS等の規格に定められた条件下で得られた測定値です。

日本化成(株)中央研究所

※NSらくらくパウダー混入モルタルの物性は使用されるセメントや砂の品質により変わります。

施工法

下地の清掃

下地のぜい弱層・レイタンス・油分・汚れ等をワイヤブラシ・サンダー掛け等で除去し、真空掃除機等で清掃してください。

*気泡発生および接着不良による浮きの原因となりますので、特に雨打たれ部分等のぜい弱部は、ポリッシャー等を用いて完全に除去してください。

*NSらくらくパウダー混入モルタルは僅かな隙間でも漏れやすいため、漏出のおそれのある箇所をモルタル等でシールしてください。

下地処理 (プライマー塗布)

NSらくらくパウダー混入モルタルの施工前日までに、施工面にNS高性能プライマーSL用の5倍希釈液※を左官刷毛等で2回塗布してください。1回目塗布後NS高性能プライマーSL用が乳白色から透明になってから2回目を塗布してください。※NS高性能プライマーSL用 1：清水 4の希釈液

*1回目と2回目の塗布間隔は、夏季1～2時間以上、冬季3～5時間以上が目安です。ただし、乾燥後できるだけ早い時期に2回目の塗布をおこなうか、埃等の付着がないよう養生してください。

*安定した気泡抑止効果が得られないおそれがあるため、ゴムベラ、スプレー等による塗布は避けてください。

練混ぜ

①ミキサー内側に付着するモルタルの量を低減させるために、モルタルミキサーに砂全量の半分にあたる50kgを投入します。次にセメント2袋を投入します。

*モルタルミキサーがうまく回らない場合は、2割程度砂の量を減らしてください。

②NSらくらくパウダー3.8kg 1袋を投入します。続けて残りの砂 50kgでセメント、NSらくらくパウダーを覆うように投入します。次に30秒空練りし、砂とセメントおよびNSらくらくパウダーを確実になじませます。

*事故防止および飛散防止のために、砂、セメントおよびNSらくらくパウダーの投入時にはモルタルミキサーを停止させてください。

③清水10～12ℓ程度(1バッチあたりのセメント量50kgに対して重量で1/4～1/5)を加え1分間練混ぜ、固練りのモルタルを作ります。

*一度に所定量の清水を加えるとモルタルのダマが発生することがあります。

④最後に残りの清水20～33ℓの範囲で流動性を調整しながら加え、2分間程度練混ぜます。

*必ずSLフロー値を確認してください。流動性の範囲はSLフロー値で190～210mmです。これより大きいフロー値の場合はプライマー成分の浮き上がりや材料分離を起こし、所定の強度が得られない場合があります。

*砂100kgの目安は、20ℓバール缶(約9分目まで入れた砂が約25kgに相当)の4杯分です。

打設

練り混ぜ後のNSらくらくパウダー混入モルタルを部屋の隅から順に広げるように流布しながら、レベルに合わせて土間ごてで軽く均してください。打継ぎは打設後15分以内を目安とし、塗厚を調整しながら、平滑に均してください。

*NSらくらくパウダー混入モルタルは製造後、流布する直前に再攪拌してください。

*NSらくらくパウダー混入モルタルは製造後、3時間までを目安として流布を終了してください。夏季は可使用時間が早くなるので十分に注意して施工してください。

*流布後15分以内を目安に仕上げてください。それ以上経過すると、良好な仕上り精度が得られない恐れがあります。

養生

施工終了後24時間(冬季は48時間)は、直射日光、急激な乾燥、振動、衝撃等を避けてください。また、仕上材施工までの養生期間は10日(冬季は14日)以上とし、硬化後、通気養生をおこなってください。

*施工翌日(冬季は2～3日後)には軽歩行が可能です。床表面は特に傷つきやすいので、十分注意してください。

*仕上材施工をする場合、十分に乾燥(目安として含水率8%以下)していることを確認してください。

留意点

①NSらくらくパウダー混入モルタルは使用されるセメントや砂の品質により、加水量や流動性、硬化後の表面の仕上がりが変わります。

*本施工前には試験施工による事前のご確認をお勧めいたします。

②NSらくらくパウダー混入モルタルの施工可能厚は使用する砂の大きさにより変わります。

③NSらくらくパウダー混入モルタルは、これまでのモルタルのこて押えの手間を大幅に軽減させるために開発されたものであり、SL材と同じものではありません。

*その他詳細は弊社にお問合せください。



使用上の注意

■気温が3℃以下になる場合には、施工を避けてください。

■練混ぜに使用する水は、水道水等の清水を使用してください。

■使用後の器具は速やかに水で洗浄してください。

■製品は製造年月日を確認し、1年以内を目安に使用してください。

本カタログに記載された内容(データ・仕様・施工法等)は、作成時点で入手できた情報・データに基づいており、実際の現場での結果を確実に保証するものではありません。また、本カタログの内容は、断りなく変更することがありますので、ご了承ください。ご使用に際しては、適切な使用方法と安全対策に注意し、お取り扱いください。



製品問合わせダイヤル ☎ 0120-974237

製品の概要・施工に関してはこちらのダイヤルまでお問合せください。

ホームページ <http://www.nihonkasei.co.jp/> 日本化成の最新情報もご覧ください。